

## 会 議 議 事 録 (要点記録)

会 議 名	第3回 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会		
開 催 場 所	村上市役所5階 第5会議室		
会 議 日 時	平成26年3月17日(月)	時 間	pm02:00 ~ pm04:00
目 的	<b>【概要】</b> ・村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の検討について ・その他		
<b>【 発 言 者 等 】</b>	<b>【 内 容 】</b>		
[司会進行]事務局-東海林 榎谷委員長  事務局-東海林	<b>1. 開会</b> ・あいさつ  ・委員15人中13人出席 会議成立の報告 ※野澤委員(14人目)からは、少し遅れる旨の連絡があった。 ・資料の確認		
[議事進行]榎谷委員長  榎谷委員長	<b>2. 議事</b>  ・事務局から資料の1、2、3の説明をお願いします。そのあとで、資料についての質問を受けたのち、協議を行います。		
[説明]事務局-中村	・ <b>第2回の会議録の確認</b> ※本日配付した第2回会議録は、持ち帰っていただき内容の確認をお願いしたい。確認票に修正の有無を記載し郵送いただきたい。前回欠席された委員の方には、会議の内容確認の資料として活用いただきたい。  ・ <b>資料1. 村上駅周辺まちづくりの基本方針及び施策(修正案)</b> ※前回協議いただいた資料を修正したもの。修正箇所にはアンダーラインをつけている。修正は、前回の会議を踏まえて修正したもの、表現を適正なものに修正したもの、複数あった項目を一つにまとめたもの。3枚目の将来整備方針図についても、1枚目の修正に合わせて修正している。資料の右上に協議のポイントを記載している。6つの基本方針案の内容、基本方針における取り組みの視点・方向性の考え方について協議いただきたい。 ※補足資料は、前回の会議で基本方針に係る優先度(順位)の設定について意見があったことから、事務局で考え方をまとめたもの。基本方針の下で個々の取り組み、具体的な施策で優先度を考えることになる。  ・ <b>資料2. 施策と具体的な取り組み(案)</b> ※資料2は、今回の資料1の修正案に合わせて作成。前回の資料で検討中としていた「想定される取組」に取り組み内容(案)を記載している。基本方針ごとにまとめている。他の基本方針と関連する取り組みには網掛け表示としている。 資料2も資料1と同様に資料の右上に協議のポイントを記載。		

	<p>・資料3. 村上総合病院移転後の跡地で想定される機能と考え方(案)</p> <p>※1枚目は、資料2(4頁)大規模跡地等の利活用に関する資料で、次回協議いただきたい内容で資料の提示のみ。</p> <p>※前回の会議で、病院が移転した場合の影響についての話しがあったことから、2枚目に村上総合病院に関する情報を記載。村上駅に関する情報として、駅東西の駅前広場の将来的な範囲を表した図を併せて記載している。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>今、お話を伺っていたように、特に本日は、資料1、これは前回、検討資料とされたものを修正していただいたものです。それと、資料2の中で、今ほどお話しいただいたように、4ページの右上の部分については詳しく資料3に出ていたところですが、この内容については次回に繰り延べるということで、ここを除いた資料2の残りの部分を正式に決定していきたいと思います。</p> <p>まず、今説明いただいた資料3ページにつきまして、内容の議論はその後でいたしますが、まず資料を見て、説明を聞いて、分からなかったところ、確認したいところなどのご質問がございましたらお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>網島委員</p>	<p>前回、「まちづくりの課題・視点」ということで6点挙げられていたのですが、それと今回の基本方針とどのように結びついていくのか、もう1回教えていただけますか。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>前回の資料と今回の資料と大体同じですので、今回の資料でもいいかと思いますが、資料1の左側の四角にまちづくりの課題が、アイウエオカがあって、まちづくりの視点(1)(2)(3)があります。基本方針案の1番から6番まであるわけです。この関係ということでしょうか。</p>
<p>網島委員</p>	<p>課題があって、その解決策として方針が示されていると思います。課題と基本方針案がどのように対応しているのかということです。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>例えば、まちづくりの課題のアを例にとりますと、駅前のにぎわいや玄関口の魅力に乏しいという課題があります。駅前のにぎわいや魅力が乏しいので、その解決策として駅の東口について何かをしなければならぬということが考えられるわけです。そこで基本方針の一つめに駅東口の機能向上を掲げ、取り組みの視点・方向性、具体的な施策につながります。</p> <p>課題はアからカまで6つあり、基本方針も6つありますが、それぞれ対応しなければならないかという、必ずしもそういうものでもありません。そこにまちづくりの視点や、前回説明いたしました都市計画マスタープランとの関係、そういったものもこの資料では表現されています。その辺を合わせて基本方針案、そこにつながる取り組みの視点・方向性、具体的な施策案ということで前回の資料で出しておりますし、今回は具体的な施策案の下に、具体的な取り組みを出しているということでご理解いただければと思います。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ご質問いただいた点については、前回の資料の内容についてです。前回、かなり時間をかけて事務局に説明していただいて、それを基に、前回の資料でも基本方針案と取り組みの視点・方向性が書かれた資料が出</p>

<p>板垣委員</p>	<p>てまいりまして、それを協議いたしましたので、そこら辺の問題につきましては、前回の部分で検討済みという認識であります。</p> <p>今の件ですが、前回の会議録をもらっていなかったもので、それを見て今回の資料とのかかわりとか、自分で確かめることが出来ませんでした。前回話し合われたことがどういうふうに集約されたのか、検証することが出来ませんでしたので、可能であれば、次の会議に臨む前に前回の会議録が手元にあると、どのように話し合われたのか、つなげて考えることができるようになりますので、配慮していただきたい。</p> <p>今の話を聞いていても、委員長は分かるかもしれませんが、私も、前回の資料で出された課題や基本方針案などと、今回どこが修正されてどのようなになったのか、しっかりと分かりかねて、いい質問だなと思っていました。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>会議録のご要望につきましては、こちらで対応させていただきます。前回の会議の内容が比較できるような時間的余裕が欲しいというご要望かと思えます。</p> <p>それにつながりまして、前回の話しの中で、どれがどうだったということですが。冒頭申し上げましたが、この表の個々の具体的な何の行をどう直そうという話し合いは、そんなにされたということとはございません。ただし、委員の皆さまがおっしゃったことを、漠然とこの表に反映されるものもあるかもしれませんが、資料の説明の最初に申し上げましたが、具体的な取り組みを今回出しました。具体的な取り組みを出したことによって、この取り組みの視点・方向性と似たような表現になってきているところが結構ございました。</p> <p>一つの例として申し上げますと、今回の資料の基本方針案の3番、公共交通サービスのサービスというところにアンダーラインがありますが、前回の資料では、公共交通の利便向上、利用促進という表現になっています。</p> <p>これを公共交通サービスの利便性向上に直したほうが、より言葉としてしっくりくるのではないかと考え修正したところです。</p> <p>また、資料の右側の一番上の欄に、具体的な施策案 a、b、c とありますが、c の「駅前通りの環境整備」の環境のところアンダーラインがあります。前回の資料では、ここは「駅前通りのまち並み整備」という表現になっています。見比べていただければ分かりますが、環境整備とまち並み整備、具体性が全然違います。そういうことで、具体的な取り組みを書いていくことによって、一つ上の上位のところ、具体性が少し取れてきたほうが計画としての並びとしては妥当なのではないかと、こういうところの修正も今回は入っております。</p> <p>こういう細かいところまでは、前回出てきているものではありません。必ずしも会議の発言全部がここに盛られたというものでもございませんし、今回の具体的な取り組みを書いたことによって、今までの取り組みとして表現したところ、それから方針として表現したところ、もう少し妥当な表現があったなという修正というものが結構ございます。そういうところも見ていただければと思います。</p> <p>なお、本日は、2回目の会議録を配布させていただきましたが、次回につきましては、要点記録という形になるかもしれませんが、前回の内容が把握できるものを事前に配布したいと考えております。</p>

板垣委員

ありがとうございました。分かりました。もう一つ質問したいのは、今日の資料1の例えば、駅東口の機能向上のところをずっと見ていきますと、具体的な施策まで載っているのですが、昨日、仮装行列をやりました。小学校6年生が提案した仮装行列でした。みんなでそれについて話し合ったりしたのですが。この前のアンケートとか座談会とか、そういうものをまとめたものをもらいました。今年の高校生の志願状況を見ると、村上がどうなっているか、だいたい分かると思うのです。駅を一番利用しているのは高校生です。この高校生が卒業して、村상을忘れないでどこへでも旅立ってもいいのですが、また帰ってくる。それは村上の活性化を図る大事な金の卵みたいなものです。

その高校生はこのアンケートでどんなことを希望していたのか、今見ようと思ったけれどもその考えを読み取ることはできません。この案をつくるときに、こういう実態調査をやったものを高校生の考えとか気持ち、どこにそれが出ているのか。前にも言ったけれども、横ではなくて縦も少し考えていかないと、生きた案になっていかないと、絵に描いた餅になるよと私は言ったつもりだったのですが。

これをつくるときに、高校生の提案とか、そういうものがここに出ているのか。私なんか、簡単に言うと、高校生は駐輪場をきちっと作ってほしいとか、ちょっと休める場所が欲しいとか、今、生涯学習推進センターができて勉強ができていいとか、それに近いような所が欲しいとか、何か高校生らしいものが、村上高校でも桜ヶ丘高校でも、中等教育学校でもそれぞれ出てくるだろうなど。それに応えてやるのが、この策定委員会で良い案を作ることになるのではないかと考えています。

もし、何かそれにかかわることがこの案にありましたら教えてもらいたい。そのほかのことでも言いたいことがあるんです。例えば、温泉のお客がどのように変わっているのか。農業ではどんなふうになるか、漁業ではどんなふうになっていって、村上駅周辺はどんなふうになるのか議論したいことがあります。

榎谷委員長

今は、資料について、資料の表現等について質問を受けたつもりでしたが、せっかくご意見をいただきましたので、お答えいただけることがありましたら、事務局から少しお答えいただけないでしょうか。

事務局-中村

1回目の資料になりますが、アンケートに関する資料を配付しています。その中では、高校生がどんな回答をしているのかというところもございます。一つの例で言いますと、総合病院の跡地には何がいいでしょうかという設問がございます。高校生が一番希望しているのは商業施設、二番は公園広場、三番は社会福祉施設という結果が出ております。高校生としてはこの順序になっております。

ただし、駅周辺の利用者はそうではない、一般市民もそうではないという結果になっております。板垣委員のおっしゃる高校生の意見を尊重するというのは、それは一つの意見ではございます。では一般市民の意見はどうするのかということをおっしゃる方もいるかもしれませんし、思っていない方もいるかもしれません。その辺を委員の皆様でご協議いただければと思うところです。事務局にどう考えるということではなくて、そこをご協議いただきたいということです。

そういうことで、全部が全部、高校生の意見ということで、結果がイコールになるわけでもございませんし、かといって数だけでということでもございません。その辺のところを踏まえて、今回の方針や案を作っ

	<p>ていると、こちらは考えております。いや、そうではないのではないかと、というご意見もあるでしょうから、その辺のところをご協議いただければということです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ほかにこの資料1、2につきまして、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>補足資料を見ますと、基本方針の優先度の決定については、設定という考えは適用しないと言っていますが、その前段に、それぞれの基本方針は相互に連携・機能することで、まちづくり全体が達成されていくと考えている、と言っています。それではそれぞれの方針が他の方針に対してどのように機能するのかというところは、どのように書き込んであるのでしょうか。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>書き込みについては、まだ書き込みを議論している段階ではございませんので、ここは一般論的にはこういうことだろうということです。先ほど資料のところ、網掛けで少し黒くなっているところは再掲ですと説明したところがあったと思います。それらを見てもらうと分かるように、一つの方針だけに全てぶら下がっているのではなくて、他の方針のところにも関係している項目は出てきます。こればかりではないかもしれませんが、実際の段階でもこのように関係して出てくるところもございますので、一個一個の基本方針がそれぞれ独立しているのではないというのは、分かっていたのではないかと思います。</p> <p>文章としての、例えば、最終的にまちづくりプランの報告書としてどうなるかといったときの文章としての表現というのは、この段階で資料としてお示ししておりません。</p> <p>相互の関連性などにつきましては、また後の委員会での協議事項としてお示しするというところでございます。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>では、お願いなのですが、例えば、基本方針の1番「駅東口の機能向上」と書いてありますが、この機能向上をすることで、2番がどうなる、3番がどうなる、4番がどうなる、5番がどうなる、6番がどうなるというところをしっかりと書き込んだもので、それぞれがどういうふうに関連しているのかというところを明らかにしながらまとめていただければ、それぞれのプライオリティが分かると思うのです。</p> <p>その中で、例えば矢印で相互が重なるようなところは、少なくとも必要性が高いものだと。そうすれば、その中のものが、プライオリティ、必要性が高いということであれば、それを優先的に整備するとか。今、これを見る限り、みんなフラットになっているけれども、本来課題というのは重い、軽いがあるはずなので、それを明らかにする中で、整備の順序を決めていくという方向を採っていただければと思います。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>今のご意見につきましては、こちらのほうで検討させていただきます。整備の順序というのは、当然必要だと思います。方針の順序も、本来はそうなのかもしれませんが、最終的にまだそこまでの協議がされているわけではございませんので、また委員会でその辺のところは皆様にご協議いただくことになるかと思っております。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>おそらく、今、質疑があったところを、私なりに考えますと、資料1</p>

	<p>の補足資料で、先ほど事務局より説明いただいたように基本方針は優先順位を設定するようなものではないということを説明されておりました。</p> <p>それはそれとして、プライオリティということは、ただちにそれが事業化の順序ということの意味しないという前提で、例えば概念的な、相関関係、どれがどれと関係が深いとか、絵に描くような形で、横一線で並ぶようなことではなくて、何か説明というか表現ができるのかなという気がしています。そこら辺は次回までの課題とさせていただきたいと思ひますし、それにつきまして、理解とご議論の時間を設けたらよろしいかと思ひます。</p> <p>ほかにこの資料の表現等につきまして、ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして内容の議論に入りたいと思ひます。現状、資料1と資料2、内容的には横向きにつながっているようなものですが、現状これを合わせまして、資料1の修正案と書いていますが、これにつきまして協議を行いたいと思ひます。</p> <p>協議のポイントとして、赤い字で右上に①、②とございます。特に①は当然、この6つの基本方針の内容についてということですが、②にあるように大きな表の真ん中の列、取り組みの視点・方向性という部分、この考え方を中心にこれでよろしいか、何か不足しているとか、こういうふうに変更すべきであるというご意見を伺いたいと思ひます。</p> <p>なお、右側の具体的な施策案というものは、次の資料2のほうに続いてまいりますので、今見ていただいても、次のところで一緒に見ていただいても、どちらでもよろしいかと思ひます。</p> <p>主に資料1に関連してご意見等を伺いたいと思ひます。いかがでしょうか。</p> <p>板垣委員 1の駅東口の機能向上と、2の基本方針の東西の連絡性強化及び移動円滑化の二つに分けてあるのは、非常に考えにくいのですが。一緒に機能向上というわけにはいかないのでしょうか。東口も西口も一緒にして、機能向上を考えるというわけにはいかないのでしょうか。あまり飛躍しすぎますか。</p> <p>櫛谷委員長 ご意見を言うだけでいいのですが、一緒にしたほうがいいのではないかというご意見と承ってよろしいですか。</p> <p>板垣委員 そうです。どっちかというのと、ちょっと歴史を振り返れば、緑町とか、松原町とか、元は田端町なんです。田端町で一緒にの町内だったんです。そこは、線路が入って向こうと分かれ、工場がなくなり住宅地になって、今はどちらかという瀬波地区に寄っているわけです。</p> <p>この西と東がつながれば、元のように田端地区一緒に、60代くらいまでは一緒に育った町ですから、思い出せばどんなふうにしたらいいかなんていう考えは、非常にいいものが出てくるのではないかな。できないかどうか、そこら辺、事務局で、いや、それはちょっと無理だよと、段階的に考えたほうがいいだろうと思ひますが、私はちょっと、先走っているかもしれないので、お聞きしたいのです。</p> <p>櫛谷委員長 事務局にどうだというよりも、これは何か、議論のための一つのたた</p>
--	--

	<p>き台みたいなものですので、どうだというのは、ここの委員会で考えていくということかと思えます。今の板垣委員のご意見をほかの委員の方がどのようにお考えかということ承りたいと思えますが。</p>
板垣委員	<p>私の意見をはっきり言いたい。この前の資料を見せていただいたところに、半径何キロの円の中での実態とか、いろいろ出ました。それを考えても、基本方針の1つめと2つめの駅に関する基本方針は一緒のほうがいいと。歴史的に見ても一緒がいいというのが私の考えです。</p>
櫛谷委員長	<p>ただいまのご意見につきまして、同意とか反対とか、何かご意見があればぜひ出していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっと、私も村上市の歴史について、駅の東西がどうのというのは土地勘がありませんので、ポイントを整理していただくという意味で隣に座っておられる野澤さんにご意見をいただきたいと思えます。</p>
野澤委員	<p>それぞれ1、2と、考える要素は非常に多いので、私は分けたほうがいいかなと思っています。一つにすると、いわゆる考える要素が多くありますので整理しづらいいかなという気がします。私は分けて考えたいと思えます。</p>
櫛谷委員長	<p>ほかの委員の方々、いかがでしょうか。</p>
浅野委員	<p>今、板垣委員から瀬波温泉の話も出たのですが、前回、野澤副委員長が最後に、「西口のほうをお考えになるのですか」と言って質問されたと思えます。私は、村上駅前まちづくりと、ずっと最近まで間違っておりました。ご案内、3回目にいただいて周辺と出ておりました、板垣委員の話もあるのだろうと思えました。</p> <p>狭い観光協会だけのお話をさせていただければ、地図にも示されているように、村上市より駅前観光案内所というので、旅なび館をオープンさせていただいたばかりなのですが、駅前観光案内というか、駅前のという意味であれば、東口の商店です。今、村上駅前通さんとお話をしていたのですが、非常に整理しやすく、現実生活が営まれているわけですから、改善という要素を考えますと、先ほどのアンケートを入れれば、さまざま出てくるのだろうと思えますが。</p> <p>現実問題として、村上総合病院さんも、確実に移転されることも明らかで、そういうことを考えたときに、それはこれ、これはこれと、なんで周辺になっているのかなというところは半径500メートルということ考えたとき、西口のところは入っていったら、えらいことになるのかなという気もするのです。</p> <p>でも、議論としては、一緒にこれを考えるべきではないかと、ストーリーとしては、基本的にはそれも捉えた中で、時系列でやるべきではないかと、個人的な考えですが述べさせていただきました</p>
櫛谷委員長	<p>1点の確認ですが、時系列というのは整備の時間ですか。</p>
浅野委員	<p>そうですね。結局、西口ということについては、いまだ都市計画として全く聞いてもいませんし挙がってもいない状態です。しかし、周辺ですから、現実こういうふうなマッピングされておりますので、無視することはなかなかできないのかなということもあります。現に中等</p>

	<p>教育学校は西口のほうが便利なわけですから。先ほどの高校生のというお話になれば、当然、緑町等が出てくることになるわけですから。</p> <p>その議論は今置いておいて、まず東口から行きましょう、そっちから行きましょうということになれば、すぐにその動きはできるのではないかと思います。逆にこっちも聞かせていただければ、限られた時間ですから。そういうことです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ほかに、この問題に対して何か。</p>
<p>綱島委員</p>	<p>私は駅の東側と西側は別々に検討すべきだと思っております。東と西では、条件が全く違いますので、これを一つにしてしまうと、全く違うものを一つにして、ごちゃごちゃに話すことになりますので、一つずつ片付けていったほうがいい。そのためには、東側は東側でやって、西側はどうするか。それでそれをどうやって結びつけるかと考えていくべきだと思っております。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>整理しますと、ほかにもご意見をお持ちの方がいると思いますけれども、まず、今の段階で、基本方針6点出ておりますが、これを紙の上でどうするかということをや々と議論しても生産的ではないような気がします。</p> <p>それから、先ほど資料1の補足資料、青い丸が横に連なっているものを見せていただきましたが、これが、本当にそれぞれが独立性を持っているものではないというのは言うまでもない、説明するまでもないと思います。というわけで、関連性の深さを言えば、主に東口を念頭においた、一番左、先ほどの1、駅東口というのが東口の問題だし、その次の東西というのが2番に書かれている。それが、右側の交流とか定住というところよりは、左側の3つあたりが、実際の問題として関連性が深いと思います。テーマとしては関連が深いだろうと。</p> <p>ただ、今、綱島委員がおっしゃったように、その前に野澤副委員長がおっしゃったように具体的にこの計画づくりをしていくことを考えますと、全然、別の性格のものであるし、整理のポイントも別になっているということも、現実の手法としてはそのとおりだと思います。</p> <p>そんなわけで、ちょっと、この資料の表現上、どのようにまとめるかというのが本当のポイントではないと思いますが、先ほど私がちょっと口走ってしまったように、この6つが全く横並びで、対等にあるということではないと。ならば、それを何かしら、どういう相互の関係があるかということをもとめていく。</p> <p>これをまとめるにあたって、大ざっぱに基本方針の1、2、3と言ってしまうましたが、より近いのは1、2だろうと。空間的にも近いし、歴史的、社会的なことは、私はよく分かりませんが、多分、西と東を一体で考えるというのは、最終目標にはあるのだろうなという気はします。具体的には、それぞれ西においても東においても、方法論は別としても、公共交通サービスなどが一つの重要なポイントとなってくるという点では、基本方針3も、1にも、2にも関連を持っている。</p> <p>ただし、文言の上では関連していますけれども、具体的には全然違ったことを想定せざるを得ない。そういうことが現実だと思います。1、2、3あたりを、比較的近いグループというような認識を持って、それが分かるような形で取りあえず整理をしていくということで、この問題は取りあえず引き取らせていただきたいと思います。</p>

ぼやっとしたまとめ方で申し訳ありませんが、しかしながら、現実にはどこをどういうふうに整理すべきかということは、西と東、それぞれ違った特徴を持っているところですので、原案の中身については、また今の話がぼやっとしたままでも議論を先に進めることは可能だろうと思います。

今、決着をきちんとつけなくて申し訳ありませんが、次回までにちょっと、表現を少し工夫するというで今の問題をくくらせていただきまして、中身の話をこの後、議論を進めさせていただきたいと思いません。よろしいでしょうか。

それでは、同様に先ほどと同じですが、資料1の1枚目、2枚目をご覧いただきまして、何か修正すべき点、なくすほうがいいのかというご意見がありましたらお願いします。

委員長としての発言ではなくて、一委員として、私、何度も言うように、こちらの村上市民ではございませんので想像半分で申し上げますけれども、こういう考え方はどうなのかなということを委員の皆様に向けて、反論を出していただければと思います。

例えば、資料1の一番最初のところ、1のところの真ん中に、取り組みの視点・方向性①、②とありますが、②で「市の玄関口（市の顔）としての整備」という表現がございます。ここにはそういう事柄が書いていませんが、村上らしさ、村上の特徴みたいなことが、ここに加味されているのではないかと思います。中身がどうだというのは置いておきまして、言葉の遊びですけれども、村上らしさというのは、多分、ほかにはない村上だけにあるということ、ほかの都市、町にはあまり見ることができない、あるいは存在しない、感じられないもので、村上に来ると、なるほど、ここにはこういう特徴があるのか、村上はこういう町なのだということが分かるというものかなと思います。

それから、ずっと真ん中の欄を下に見てまいりますと、例えば、真ん中の4番の②で「市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり」と、市民の方は言うまでもないですが、来訪者というのは、よそから来るお客様のことだと思います。同じ言葉が④「市民や来訪者が求める情報の発信拠点」ということで、観光、イベントとあります。

村上らしさを何か表現するということだと、直接的には観光でみえる人、あるいは来るかもしれない人にアピールすることだと思うのです。問いかけみたいな言い方で恐縮ですが、村上らしさを何とか出すことが求められているとしたら、物なのか目に見えないものなのかよく分かりませんが、何なのでしょう。何が村上らしいものなのかということを市民の方にはぜひ教えていただきたいなど。

放っておくと、私もそうなのですが、これはこうすべきだ、こうするのが自然だ、効率的だということをつい考えてしまって、結局、全国どこの町でもあるようなものに整理されてしまう。確かにそれは便利で、表面的には快適でよろしいのかもしれませんが、何か村上らしさがなくなるのは残念な気がします。

ぜひ村上らしさを教えていただいて、それをここで作ろうみたいな短絡的な話ではないと思いますが、ちょっと感じられるようなことが出てくるといいなど、一委員として思っているところですがいかがなものですか。

ちょっと教えていただきたいのですが、村上市観光協会の浅野さん

<p>浅野委員</p>	<p>は、そんなようなところはどのように考えたらよろしいか、お知恵を聞かせていただけないでしょうか。</p> <p>いわゆる、「むらかみ旅なび館」は、古材を使って非常に創意工夫されています。一般のお客様にも対応できるようにということで、最終のものも含めると村上をあそこに凝縮した建物で、140 平米しかないんですけれども、させていただいたり、あそこにタワーというか歓迎塔があるんですが、あれは振興局様のお取りはからいでライトアップしたりとか、そういうことを年末からさせていただいたりしているのです。</p> <p>さっきも話をしていたのですが、湯布院の駅と景色が似ています。非常に似ているんですね。湯布院も町歩き、旅歩きの町ですから、ちょっと動くとお城山が見えたりとか、今後、村上総合病院さんの跡地の問題も出てくるのでしょうかけれども、いずれにしても駅前の広場が危険になっている。現実には、道は関係なくて、とにかく町屋の、昨日、おととい、あれだけの観光客が出ています。そういうことを考えますと、今日もかなり陽気に誘われておいでになっていますが、ほとんど首都圏のお客様、関西、遠くは九州あたりから来ているわけです。いずれにしても村上駅が起点になって動いていることは事実ですし、また、村上瀬波温泉インターチェンジ、これほど駅に近いインターチェンジというのも、高速道はきわめてめずらしいと思っています。</p> <p>生活する方にとっては、交通量が増えて、なかなか大変な作業になっているわけですが、これは今後、きちんと都市整備という意味では、歩く方も多くなっているので整備しなければいけないのですが、村上らしさということになりますと、今言った部分を、景観、ちょっと歩くと出てくるところが出てくるので、これはほんとに田端町の皆さんとか、いろいろ作りあげていかなければいけないのでしょうか。</p> <p>私は観光協会ですから、観光の話ししか知らないのですが、どうしても物産の場所がもっと欲しい、JAさんが新鮮な野菜と農産物をあそこに建設中ですが、そういう意味では歩くところでまたひとつ、良さが出てくるのだらうと思います。私の考え方を、全部建物を真逆に変えろというわけにはいきませんが、一つ、大変いい建物を造っていただいたということです。</p> <p>話がずれるのですが、駅東口の機能向上ということだけで言いますと、あの案内所ができたために、交通アクセスで、インターチェンジから車で直接乗り込んで来まして、ナビゲーターをつけますと、案内所というみんな村上駅へドライバーが全国から集中するという状況が今後十二分に予想されます。</p> <p>そうすると、あそのタクシープール、車の乗り入れが非常に危険な状況が想定されるということで、村上駅長と、駅の駐輪場の問題も含めて、今後はこれを議論していかなければいけないということは商工観光課とも話をしているという状況が具体的なこととして起きています。余計な話でしたが。すみません答えになっていませんが。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ここで、それは何だと問いかけると、これだという答えはないと思いますが。大学のセミナー授業みたいで申し訳ないのですが、もうお一人だけお伺いしたいと思います。山北地区の斎藤委員、お願いします。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>私は一番遠い山北から来ております。本当に村上には歴史もあって、町屋とか色々あります。朝日地区は山もあります。山北地区も山も海もあ</p>

<p>櫛谷委員長</p>	<p>りますし、朝日地区なんかもいろんな活動もあるし、素敵な山もあると思うので、自然もあり、村上地区の歴史とか、色々あるということではないかなと思います。山北地区も忘れないでほしいと思っています。</p> <p>各論に入ると、途端に難しくなるのが、この手のテーマの常でして、一つに絞ると、あれはどうした、これはどうしたという話に当然なりませんし、全て満たそうとすると、結局、どこでもあるようなものになるということで、特徴が見えなくなってしまう。一般論ですが、よくある話なので、そこの兼ね合いかなという気がします。</p> <p>ちょっととりとめのない話なので、この話題はこれくらいにしたいと思いますが、ぜひ、これから、今回終わりではなくて、年度内はこれで終わりですけれども、また継続してこのまちづくりプランの策定まで議論を進めていかなくてはいけないと思います。折に触れ、この村上のアピール、村上らしさをアピールすることを、ぜひ織り込んでいけるといいなと思っています。そういった議論を挟んでいきたいと思っていますので、取りあえず次回まで、次回で決定ではありませんが、またお聞かせいただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>では、資料1の内容、特にこの基本方針の取り組みの視点・方向性というところについて、何かご意見はありますか。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>この方針の中では、具体的な対策というのはハードが多いわけです。ハードとソフトというのはセットだと思っております、当然これを作ることによって、一つの道具としてはできるとは思いますが、その道具をちゃんと使いこなすかということは、人にかかっているわけです。その辺のところを施策の中で盛り込んでいただきたいと思います。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>今の話、ちょっと解説してくれませんか。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>渡邊委員、少し説明を補足していただけますでしょうか。特にソフトが必要だということを具体的な例でご説明いただけますでしょうか。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>例えば、鉄道利用者向け駐車場整備しますと、施策の中に入りますけれども、そうするためには、どういうふうにするのかという部分もあると思うのです。例えば、本当にちゃんとお金を入れて出し入れできるような形にするのか、それとも市のお金を取ってやっているのかとか。そういう部分というのは、モノを作っただけで終わりになって、その先の話があるわけです。それをどういうふうにするか。そういうところも、作る時に検討してどういうふうにしたほうが一番いいのかということも含めてということです。ですから、モノをつくって終わりではなくて、モノをどのように使うかを考えてからモノを作るということです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>これも、この部分というポイントではなくて、全体にかかわる問題だろうと思います。私たちのこの委員会では、何度も言うようにですけども、村上市民の皆さんから構成されていますので、例えばこういうものがあつたほうがいいんじゃないかとお考えのときは、同時にこれをご自身が使うかどうか、使うとしたらこうだと、使いやすくするにはどうしたほうがいいのかという視点を合わせてお考えいただければと思います。</p> <p>ほかにご意見はありますか。</p>

<p>綱島委員</p>	<p>特に4番なんですけれども、「都市拠点・にぎわい空間の形成」、これをぜひ駅の東と西に分けて考えていただきたい。これから、東の部分については、先ほどの病院の移転の影響があって1,500人くらいの人がいなくなる。西にその部分の人間ができるわけです。そうすると、西側は確かににぎわい空間の形成がされるかもしれないけれども、東側はにぎわい空間がなくなるのをどうやって防ぐか。そういう見方をしなければいけないので、全く違うやり方をやっていかなければいけないのではないか。これを一緒にたにしてしまうと、どっちのことを言っているのか、トータルすれば減った分が増えるのでゼロになるのですけれども、それぞれに考えていかなければいけないのではないかと、そう思います。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>次のところの話題にかかわるのですが、この基本方針の4については、具体的な施策以下の部分では、かなり東側のことが想定されているようです。ということだと、綱島委員にお考えを伺いたいのですが、むしろ西側も、この基本方針の4にかかわることで考えるエリアだということになりますでしょうか。</p>
<p>綱島委員</p>	<p>東側は当然やらなければいけないのですけれども、西側についても、これからそれだけの人間が増えていって、そのためには、当然、食べる場所も必要だと。1千何百人の人が食べる場所、あるいは歩いて行く場所、当然そこまでは、駅からどうやっていくのか。そういうことが出てくるので、東側だけではなくて、西側部分のにぎわい空間の形成というのが大事になってくると思います。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>恐らく資料2についての話になりますけれども、そこら辺については、西側については言及されていなかったかと思いますが、それはまた、そこのところへ行ったら、また議論したいと思います。</p> <p>それでは、今そこまで言及してしまいましたが、資料2のほうを中心に、皆さまから、特に資料2は全部で6ページございますが、それぞれの内容についてご議論をいただきたいと思います。</p> <p>そのポイントとしては、先ほどと同様に全てのページに同じ、右上に赤い文字でポイントというものが書いてございます。それぞれが妥当かということもそうですし、それから、特に③で「ほかに実施すべき取り組みはあるか」と書いてございます。実際、分かりやすく言いますと、赤い文字で書いている部分の下のところ、取り組み内容(案)というものが縦方向に書いてあります。ここら辺が、これでよいか、このほかにないものかと、そういったところをよく見ていただきたいと思います。</p> <p>さっきも申しましたように、この資料2は資料1の横に、右側につながっていくという構成になっているようですので、必要であればまた資料1に戻ってご確認いただきたいと思います。</p> <p>どこからでも結構です。資料2を中心にご意見等ございましたらお願いします。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>先ほどの話では、基本方針と取り組みの視点・方向性まで、協議をしてほしいと。具体的な施策については云々という話だったのですが勘違いしていますか。例えば、この東口の機能向上のところであれば、施策</p>

	<p>があって施策概要があって、取り組み内容案というのは、3つに分かれているだけなんですけれども、今、意見がありませんかというか、何か追加とかありましたが、ここ、全体の中でということなのでしょうか。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>この資料2で、これからご議論いただきたいのが、特に真ん中の施策概要、それから一番右側の取り組み内容という部分です。つまり全体です。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>全体。分かりました。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>今ほどのお話の中にありました基本方針の4、4ページのところで、綱島委員から駅の西側のほうもというご指摘がありました。それについては見ていただくと分かるように4ページの施策概要での、取り組み内容の案の中でも西側のことについては、ここでは言及されていない。どういうところにどういうふうに入れ込むことが妥当であるか、ご意見があれば承りたいのですが、それは取りあえずそういう視点が必要だということであれば事務局にそこら辺を補っていただく、補う方向で検討していただくことになろうかと思いますが、綱島委員、取りあえず、それでよろしいでしょうか。</p>
<p>綱島委員</p>	<p>資料1のところでは、にぎわい空間のところに住民福祉というのが入っていますが、資料2では住民福祉に関する具体的なことが出てきていない。それは西側のことを言っているのだと思いますので、ぜひ盛り込んでいただきたいと思います。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>そのような視点で、具体的にどんな文言が可能かということは事務局にお任せする部分になると思います。ほかに、どのポイントでも結構ですがいかがでしょうか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>2つありまして、資料2の1、東口のところですが、これは事前にいただいたところでの、さっきの、余計な話ですと言ったロータリーのところです。</p> <p>ここでそれを検討されていたということは非常にいいことだと思うので、先ほど触れさせていただいたのですがありがたいことだと思っています。</p> <p>西側の話も、綱島委員が言われたとおりだと思います。結局、東側だけやっても、その分の都市機能の均衡というか、一緒に考えるべきだろうと。さっき、時系列と私、言いましたけれども、順序は別として、複合的に考えていかないと駄目だろうということだと思います。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>駅前広場のことは、一番最初の部分でしょうか。基本方針1の一番右側の第一段階と書いてある辺りに、直接関係するこの中身の話という理解でよろしいですか。ご提言ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>村山委員</p>	<p>1頁の鉄道利用者向け駐車場整備のところですか。パークアンドライドによる鉄道利用を想定した駐車場整備とありますが、パークアンドライドといいますと、何か、市外から車で来た人がそこに車をとめて公共交通を使って市内をめぐるイメージがあったのですが、この場合、鉄道利</p>

	<p>用となると、市内の人がそこに車をとめて鉄道を利用してどこかへ行くというイメージがあるんですが、これはどうなのでしょう。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>まずは事実関係というか、この言葉の意味を事務局からご説明いただけますでしょうか。</p>
<p>事務局-中村</p>	<p>パークアンドライドにつきましては、ずっと前にもご質問がありましたので、そのときにお答えしたのですが、パーク、とめて、ライド、乗る、言葉どおりですが、車から鉄道に交通の結節点という拠点で行く手段が切り替わるために、必要な施設です。ここで言っているパークアンドライドですと、どちらかと言えば、車で来て、降りて電車に乗るというイメージになります。よその方よりも、どちらかと言えば地元の方がウエートが大きいのではないかと。</p> <p>ただし全く別の県から来た人が、村上の駅にとめることもないことはないと思いますが、あまりないかなと思います。どちらかという、市民が使うウエートが大きいと見ているところです。</p>
<p>村山委員</p>	<p>分かりました。市民用の駐車場ということですね。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>ちょっとすみません、私も事情が分からないのでお伺いしたいのですが。そういう需要というか、例えば村上市外に通勤をされる方で、自家用車で行っていた人が、駐車場が安く利用できるとすれば、そこに車をとめて電車で通勤するということはあり得ますか。そういうニーズはありますか。</p>
<p>村山委員</p>	<p>村上は大変広いので、車で駅まで行って電車を利用される方は大変多いと思います。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>なるほど、そういう一定の需要がある。定量的な話はともかくとして、あれば、それはそれで便利であると。</p>
<p>村山委員</p>	<p>ただ、仕事で利用される方は毎日になりますので、毎日お金を払って利用するよりは月極めで利用されている方が多いと思います。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>それから、先ほど手を挙げられた渡邊委員、お願いします。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>同じ駐車場の話ですけれども、絶対的にここの駅の駐車場は少ないと思っています。パークアンドライドをやるのであれば、立体の駐車場とか、ましてや観光を標榜している市ということであれば、市内の駐車場というのは、公共施設の駐車場以外、ほぼ皆無でして、ほとんど、そういう形になっています。多分、他県から来た場合、車をとめることについて迷うんじゃないかなと。</p> <p>ですので、市営の駐車場が必要であるという判断であれば、そういう観光需要も含めて、ご検討されたほうが良いのではないかと思います。</p>
<p>榎谷委員長</p>	<p>ここでは、上のほうから落ちてきて、そしてパークアンドライドという言葉が出てきて、駐車場と落とし込んでいますけれども、駐車場というところから考え始めるとどういう機能が、誰にとってのどういう機能、パークアンドライドと観光用というのが、ひょっとしたら曜日でシ</p>

エアできるかもしれません。そういった駐車場を中心にまた具体的な利用法なり、利用者増みたいなことをこっちで考えることが必要になるかと思えます。

ほかにいかがでしょうか。

最初のほうばかりでは何ですが、特に1枚目の一番下の駅前通りの環境整備というところから右下の取り組み内容では、駅前通りのグレードアップということが書いてあります。そちらに詳しいと思われる駅前通商店街振興組合の石田委員は、これについて何かお考えがあればお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。

石田委員

駅前通りのグレードアップということでお話しなんですけど、駅前通りは、電信柱を地下に埋めて、あそこは道路拡張したわけなんです。そこに郷土かるたを埋めたりしてやっているわけです。

あそこの大通りに関しての拡張や舗装は、もう整っていると思うのです。ただ1点、山居町の辺りもそうなのですが、大雨が降ると駅から水がみんな流れてきて溢れるわけです。その辺を、もう少し排水をよくしてもらえれば、観光客も多くおいでになりますので排水を考えていただければと思います。

榎谷委員長

それが一番最後に書いてある大雨時の冠水対策。これですね。

分かりました。石田委員、関連してお伺いしたいことがあるのですが、少し離れますが4ページ目をご覧くださいませか。まだまだ不完全、またこちら側もいろんな話が先ほどありましたが、取りあえずこれで見てくださいまして、例えば6ページ目の「都市拠点・にぎわい空間の形成」というものですが、右の欄、縦に見ていきますと真ん中に「にぎわい創出イベントの実施」とか、「商業活性化イベントの実施」とか、その下のチャレンジショップもそうですが、かなり駅前の、もちろん駅前に限定される形ではないと思いますが、駅前辺りにも密接にかかわるような、どちらかというソフトでしょうか。施設整備とまた次元の違ったイベント等について言及されています。これらについて何かお考え、あるいはご意見があれば伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

石田委員

駅前の商店街を見ていただくと分かると思いますが、商店街形成というのが、物販の方がものすごく少なく、サービス業が余計なんですね。件数からすると圧倒的に。

今は空き店舗になっていますけれども、昔はみんなそういうところに入っていたわけです。やはり国道のほうに商業地が集積されてきて、もう辞める方がいっぱい出てきました。われわれ組合と言っていますが、道路拡張したときの借金を返済するだけの商店街になっているわけです。

イベントとしては、6月の第1日曜日の神輿祭り、それに伴ってフリーマーケットとか、そういうことはやっています。あとは、商店街で物販をやっている方が商工会議所でやっているプレミアム商品券に参加しているようなわけです。

駅前の商店街としては、村上病院の跡地、ジャスコの跡地が、どういう施設が来るかでガラッと変わってくると思うのです。その辺もどういものが来るか決まらないと、われわれ商店街としても話ができません

<p>櫛谷委員長</p>	<p>ので、次回ですか、どういうものができるか検討するということですので、それをもってまた商店街と話をしたいと思います。</p> <p>ほかに皆さま方からここに書かれている内容について、あるいは書かれていないことでほかに実施すべき取り組みがあるかどうかというご意見がありましたらお願いします。</p> <p>一つ一つ細かく見ていくと、これはどうかという時間もありませんけれども、毎回恐縮ですが、村上市観光協会の浅野委員にお伺いします。</p> <p>今と同じページでだいたい同じようなところが、やはり関連が深いかと思いますが、これらにつきましてご意見がありましたら伺いたいのですがいかがでしょうか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>村上駅の、実は私はJRのほうの、いわゆる旅館、ホテルの協定の連盟というものがあまして、JR新潟支社から村上駅というのは、大変、ポイントが重くて、実は正式な取り決めはしていないのですが、新潟市のコンベンション協会さんなんかは、新潟と村上、鶴岡とで、今後、羽越線も100周年だし、村上駅は新潟県にとってみたら、JRで参加したら大変な重い、観光ということで考えるとポイントなんですね。東口も、顔もだいぶ親しみを覚えられていて、私は西というのはイメージが全然わからないのですが、私はあれで、もうちょっとロータリー機能を整備した上で、現実に商店街さんを含めて、だんだん、非常に風情のあるまちづくりをされておられます。</p> <p>先ほど言ったように、市役所までの界限までのいわゆる町屋との連携も非常にうまくいっているようですし、先ほどソフトとハードという話がありましたけど、ハードでつくればいいということだけではないと思います。</p> <p>にぎわいをつくるということで、生鮮食料品のJAさんの取り組みとか、私は、これは一つのチャンスなのだろうと思っております。ですから、村上病院さんの跡地がどうなっていくかということについては、いろんな意見をよく聞いていく。私は観光協会の立場ですから、ちょっと言葉は悪いのですが、そろばんの話になってしまいますが、やはりマインドも大事なのだろうと思います。</p> <p>村上の顔も、さっきどういう顔なんだと。実は、私はあれはあれでいいのではないかと思っているんですけどね。そんな話で申し訳ないのですが。私たちは地元でよく見えないのですが、他県から、あるいは首都圏から見ますと、吉永小百合さんが（村上を）「魅力がある」と言うくらい、ほんとにこの村上というのは、重い、そしてアピールの強い駅だと思っていますので、自信を持ってこの議論を進めていっていただきたいと思っています。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>今の浅野委員のお話にも出てきましたし、資料の中でも、見ていただいている4ページの右下でしょうか、下から3つ目の四角の中の「地元商店街が農協、観光協会等がタイアップし、定期市場等の開催」という文言がございます。このことについて伺いたいのですが、例えば、農協さん、農産物ということも想定されているようなのですが、どこら辺なのでしょう。土地勘がないもので、当てずっぽうに申しますが、例えば、朝日地区の大滝委員、そこら辺についてお考えがありましたら、お聞かせいただけないでしょうか。</p>

大滝委員

浅野委員からお話がありました病院の、JAの特売所につきましては、資料1の村高さんの前のところに建設を進めております。この5月中旬ごろオープンを目指しております。

ですので、今、JA等の直売所につきましては、郊外型とまちなか型があるのですが、この直売所につきましては、まちなか型を選んで、そこに建てて、地域の人たちの手助けをしたいというのが基本であります。

こういうことで観光協会さんから、駅前のその集客に対しても、ある程度、期待していますよということの、力強い言葉をいただきました。私自身がJAの理事をしまして、そういう関係からすれば、温かい言葉をいただいたのかなと思います。

そういうことについてはあれですが、駅前周辺のまちづくりは、以前にも申したのですが、われわれ郊外の間人としては、資料の1、2、3の、特に1と3を私どもは一番重要視しています。というのは、やはり自分の車で来て、駅周辺に行くにも駐車場はございません。このように公共の誰でも使われる駐車場があれば、一層の利用があるのかなという感じがしています。車社会であります、以前にも申したのですが、駅というのは、ふるさとの顔でありますので、その辺のところをきちんと考えていただきたいということを考えています。

私、新潟交通さんにお伺いしたいのですが、今、ロータリーとか、駅とバスの利便性等のことで、さまざまな話を受けるのですが、新潟交通さんはどのようなお考えを持って、駅前の活性化というか、ロータリー等を考えておられるのか。もし構想があったら、お聞かせ願いたいと思います。というのは、JRさんと新潟交通さんというのは、駅前をさまざまな形で利用するには、一番核となる企業だと思うのです。その辺のところを見てもらえると、さまざまなところが見えないのかなという感じもしますので、その辺、教えていただきたいと思います。

榎谷委員長

それでは、新潟交通観光さんの田巻委員から、ちょっとご紹介が可能であればお願いしたいのですが。ついでに、資料2の3ページで、「公共交通サービスの利便性向上」というところですが、例えば、取り組み内容案、右側を見ていきますと、右下にバス待ち環境改善とか、乗合バス路線見直しというところも、この資料では言及されております。バス停のバス待ちスペースとか、西口整備ということも書いています。

そこについても結構ですし、もちろん、決まった方針などは、多分、ないんじゃないかという気がしますが。会社を代表してということではなくて結構ですが、何かお考えなり、見通しとか、個人としてのご意見等、何でも結構ですがお願いします。

田巻委員

そこまで大きくご紹介いただけると、なかなかお話しできることが少ないのかなという気がします。

まず交通事業者の立場で、ほかの市町村と比較して考えますと、まず今の東口のロータリーの形状については、本当にいかななものかなと。これこそ、優先順位をつけて、解決すべきものだろうと思います。

と申しますのは、先ほど各委員からお話がありましたとおり、遠いところから車で来られる。あるいは、車で送迎をされるという方がいらっしゃる。その中でタクシーであり、自家用車であり、バスであり、あるいは観光車はそこで待つと言われてます。ということで全ての動線

	<p>が一つの場所に固まってしまって非常に危ないし、分かりやすいものが逆に分かりにくくなっているのかなと、日ごろ感じています。</p> <p>先ほどからの資料の中で、市の玄関口、市の顔としてということもありますので、まずはそこら辺から、比較的整理しやすい話だと思いますので、この辺から整備をなさっていくべきなのだろうと思います。</p> <p>もう一つ、公共交通事業者としての私どもの顔があるとともに、先ほどの浅野委員からのお話のとおりで、観光事業者としての顔も持っています。その視点で考えますと、先ほどの浅野委員のご指摘のとおり、インターからほんの車で、ほとんど混まずに5分程度でまちの中心街に入り込めるまち、なおかつ、これだけ県内の中で観光発信力のある市は、今現在ほかにないと思います。</p> <p>こういう視点を生かして、私どもはお客様からお問い合わせをいただきます。例えば町屋の人形巡りということで、行きたいのだけでも、車をどこにとめればいいんだろうね、どこに行けば、案内人を紹介してくれるのだろうねと。</p> <p>こういう意味で、平日の顔と休日の顔を使い分けるような施設を作るのも一つなのかなと。</p> <p>例えば、十日町にクロスステンがあります。もう一つ小布施のあの小さな町であれだけの大きな観光がございます。こういうことも参考にしながら、それだけの潜在能力を持った町なのかなと。私は新潟市在住の人間ですけども、そのように村上のポテンシャルについては認識しておりますのでそこら辺も含めて、今回の話は、小さな話でまとめずに大きな話として議論していただきたいと思います。</p> <p>ほかに、今のご意見やご提言に対しては、その言葉どおり承りました。この資料2に書いてある具体的なところについては、多分、計画めたものは決まっていないと、あるいはこういうことはこの場では検討しているけれども、公式ではまだ検討されていないと、こういうことではないかと想像いたしますが、こんなところでしょうか。</p> <p>ほかに何かご意見やご指摘等ありませんか。</p> <p>私は神林地区に住んでいますが、駅を利用するのに家の者に送り迎えをしてもらいます。そういうことで、駐車場がないと不便で、駅とその辺、いくつか駐車場が必要だと思います。観光客は、新潟交通さんが言われたように、非常に利便性が悪いと思いますので、そういうことを含めて検討していただきたいと思います。</p> <p>私どもも、JRを利用するときは、みんな車で走っているものですから、非常に不便さを感じていますのでよろしくお願いします。</p> <p>勝手言っって申し訳ありませんが、お隣の荒川地区の会田委員、どれについても結構ですので、ご意見いただけますでしょうか。</p> <p>私は村上市の南のほうで、一番外れのほうなのですが、この村上から離れていますから、駅周辺づくり、まちづくりとなれば、どうしてもアクセスの利便性が必要になってくると思います。ここで駅前周辺が魅力あるものでなければ、にぎわいにつながらないわけですので、そういった部分を計画の中に優先順位を定めて施策を展開していただきたいと思います。当然ながら、魅力がないことにはにぎわいにつながらないのは基本かと思っています。</p>
櫛谷委員長	
坂上委員	
櫛谷委員長	
会田委員	

<p>櫛谷委員長</p>	<p>ほかにありますか。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>村上市の公共交通活性化協議会に、私、出ているのですが、今、循環バスというものを、旧村上町と旧瀬波町と2本運行しています。しかも、一日券なんていうものを出しています。利用状況を見ると、目標までとても行かないというところ。土日になると、利用している。じゃ、駅前はどうなんだろうということで統計を取ったもの、村上駅ではどのように利用しているか、この次は聞いてみたいと思っているのですが。</p> <p>交通の便には、先ほど石田委員がおっしゃったように、道路が良くなって、広がって立派に整備されたようなのですが、肴町までは村上の祭りの屋台も来ます。その先は、駅のほうには来ないです。こちらは南線で、まっすぐ駅につながっていますけれども、残念ながらその通りは、いいのに、旧武家町がある。それを外れると住宅街のようなものです。岩船港線があるけれども、あそこはもっぱら線路の向こう側へ行くための大事な道路になる。</p> <p>先ほど、ここの駅前の活性化の中で、最近宅地ができたりして、非常に人口や世帯数は増えてきているのですが、どちらかという住宅地と。そういうことを考えると、田端町の活性化を図る一番の決め手は、肴町方面とのつながりをもう少し何とか、一緒にイベントをやるとか考えたほうがいいのかと思っています。</p> <p>もう一つは、先ほども触れましたが、駅前の活性化ばかりは、どうしても、先ほど主張した緑町とか松原町とかとのつながりも考えないと、本当の田端町ができてこないのではないかなと思います。そういうことも常に頭において議論したいかなと思っています。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>私は土地勘がなく、町の名前まで、だいたい分かりますが、イメージが浮かばなくて申し訳ないのですが。可能であれば、次回やその次で結構ですけれども、板垣委員が最後におっしゃったような、緑町や松原町、肴町と田端町とのつながりをよくするというをおっしゃったと思いますが、それを実現するために具体的に、例えば資料2にこんなことをやりましょうということが列挙されていますが、ここにどんなことを付け加えたらいいとか、どういう項目を起こしたほうがいいのかをぜひご提案いただけないでしょうか。今から思いつくということはないでしょうか。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>立派に提案されていますから。全部できるように、ものすごく立派にできています。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>具体的にはどの部分でしょうか。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>例えば、3ページの公共交通、2ページの東西の円滑化ですか。駅東西を連結する道路の整備とか、鉄道横断箇所の安全対策とか、これが出来ると、踏み切りも安心して渡れるし、道路が西へもつながると行ったり来たりもよくできるようになるし、緑町とも松原町とも山居町とも、田端町とも肴町ともうまくつながっていく。もう、そのほか、どこを見ても立派にできているんです。立派に案が出ているんだけど、なぜ、つながりとか、そういうものの説明がよく出ていないものだから。</p>

<p>櫛谷委員長</p>	<p>あちこち、たくさん、あります。</p> <p>私が土地勘がなくて申し訳ありません。そうしましたら、特に付け加えることがなければ結構なのですが、例えば、踏み切りを整備する改良するという項目がありますけれども、それに伴って、併せてもっとこんなことが必要だということが後で思い浮かばれましたら、次回にでもお聞かせいただきたいと思います。今、ここに書いてあることで十分だということであればそれで結構だと思います。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>方向性は十分です。施策のところで言いたいことはたくさんあります。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ほかにご意見などありませんか。</p>
<p>綱島委員</p>	<p>今回は資料3まで行かないようなので、2のところの4番、大規模跡地等の利活用でいろいろ書いてあるんですけども、先ほどおっしゃったように、人が減る。人が減るとということは経済効果が減ると。それを埋めていかなければいけないということを考えると、そういう視点で考えてほしいなど。</p> <p>施設を持ってくるときに、欲しい施設はいろいろあるかもしれませんが、駅前でなければいけない施設を持ってきてほしい。市は保育園をひとつの案として考えているようですが、別に駅前ではなくてもいい。駅前でなければいけない施設を考えていただきたいと思います。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>この4の問題と、大規模施設の跡地利用につきましては、資料3と合わせて次回に検討ということを予定しております。そういうことを含めて、次の回に検討させていただきたいと思います。</p> <p>それでは、全然言及がなかったところだけ、見ていただいて、目を通していただきまして、このお話を収束させたいと思います。5ページをご覧ください。「暮らすための環境づくり」です。ここではかなりハード面の取り組みが、右側の上から下にかけて記載されています。</p> <p>特に a、b、c から右に来ているところ、右上の四角の中、3点あたりは、特にこのようなものを整備するということが実際にどんなものか、可能かどうかという問題になろうかと思います。村上地域振興局の渡邊委員からお考えがあれば、当然、この段階でお聞かせいただけるとありがたいのですが、いかがでしょうか。ほかのところでも結構ですが、ハード面、いろいろ出ておりますのでご意見があれば伺いたいと思います。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>駅から町屋とか、距離があるのですが、バスで移動する、あるいは本当に歩かせるというなら、サインの必要性というのはあると思います。サイン計画に基づいたサインのあり方というのが必要だと思います。</p> <p>公園や広場空間の整備とありますが、これは公園というのがもう一つの顔を持っていて、防災上の施設としても使えるところがありますので、この地区の防災がどうなっているかということも含めてお考えになったほうがいいかなと思います。</p> <p>歩行者の自転車空間の整備とありますが、実際、自転車がどれくらいあるのかということも含めて、ネットワークで構築されるのが一番い</p>

いと思っています。

もちろん、県道があれば、それは県でお手伝いをして、やっていく必要はありますけれども、当然ネットワークですので、県でつくっても、市がつかないでなければ意味がありません。エリアの中で、どういう導線に対する歩行者のネットワークが必要なのかということをご検討していただければと思います。

あとは、定住促進のところでは言いますと、駅周辺は空き地になっているところが結構あるのです。その空き地をどのように活用していくかということも含めて、考えていただければと思いますし、そういうところは本来、商業地ではなくて住居地に向いているのであれば、用途地域の変更をやって、そういうふうにすることもできるし、そういう考えもあります。

次のページの6、私は6を担当していますので、一言申し上げておきたいと思っています。確かに皆さんからお話が出ているインターからの駅までのアクセス時間が短いというのがあります。この村上市というのは、そもそもよその人が来ると、どこに町があるか分からないのです。私も、40年前に赴任したとき、汽車に乗ってくると分かりますけれども、車で来るとみんな山に囲まれてどこに町があるかよく分からない。門前を通り過ぎてから、こんなところに町があるという、そういう町なのです。

ですから、日沿道ができてはじめて、直接この駅まで来るようになって、初めてアクセス性が高まったと言っていますが、もともとは、山を越えて、要するに守るには非常にいい場所という形になっている。地形学的にはそういう場所なので、やはりこの日沿道ができたおかげで、そういうところになったので、そういう形の中で、この町の中、歩行者ばかりでなくて、自動車に対してのサインというの、しっかり連続性を持たせたサイン計画をつくっていただいてやられたらいいのではないかと考えております。

櫛谷委員長

ほかに全体を通して何かご意見はありませんか。

それでは、まだ時間を取ってゆっくりお話をすればきりが無いと思いますが、一通り見ていただいたということで、以上をもちまして、本日予定しておりました資料1、2に基づく協議につきましては締めさせていただきます。

何度も申し上げておりますように、また事務局から最初にご説明があったように、資料2の一部分と資料3に詳しく書かれている内容につきましては、次回、詳しく協議することになるかと思っておりますので、ぜひよくご覧いただき、活発な議論ができますようにお考えをまとめてきていただきたいと思っています。

ご協議ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

### 3. その他

事務局-東海林

皆さま、長時間にわたりまして、熱心にご議論いただきまして大変ありがとうございました。次第の3番ですが「その他」ということで、事務局からありましたらお願いします。

事務局-中村

冒頭、申し上げましたけれども、前回、第2回の会議録、要点記録を

<p>野澤副委員長</p>	<p>お手元に配布させていただいております。案内にも書いておりますけれども、来週の月曜日 24 日くらいをめどに、返信用封筒で折り返し、こちらのほうにいただきたいと思います。こちらでそれを見て再調製したもので、最終的にできあがりしましたら、皆さんに送らせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次回の策定委員会につきましては、来月 4 月に入って、20 日過ぎて連休前あたりにできればと思っております。そちらにつきましても、こちらで調整させていただいたうえで連絡させていただきます。第 3 回と同じようになりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>もう 1 点、報酬及び費用弁償につきましては、振込予定は 3 月 27 日ごろになっております。文書で連絡もいたしますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。以上です。</p> <p><b>4. 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶（野澤副会長）</li></ul>
---------------	--